

句碑説明板が完成しました。

11月13日(土)に、本校で句碑説明板の引き渡しの式典がありました。これは、体育館前にある「人と村 同じ名もてり すみれ咲く」(秋桜子作)の句碑について、説明したものです。1975年に旧石橋町と当時の西ドイツ、シュタインブリュッケンが姉妹都市関係を結びましたが、この句碑はその2年前、1973年に友好の証として獨協医科大学初代学長であられた石橋長英博士の寄付により建立されたものです。同じ句碑がドイツのシュタインブリュッケン(現ディーツヘルツタール)にもあります。この度、この句碑の歴史的価値が後世に伝わるように、下野市国際交流協会が姉妹都市締結45周年を記念して作っていただきました。今後、学校においてもこの句碑の歴史的価値を子供たちに伝え、みんなで大切にしていきたいと思ひます。





Shimotsuke

姉妹都市交流記念の句碑

「友好の証」



Dietzhöfel

旧石橋町とドイツ連邦共和国ヘッセン州シュタインブリュッケン（ドイツ語で石橋の意味）との交流は、一九六六年に同じ名前が取り持つ縁をきっかけに、獨協医科大学初代学長 石橋長英博士の橋渡しにより、両町小学生の図画作品交換から始まりました。

この句碑は、友好の証として、石橋博士が両町に寄贈したもので、後の姉妹都市締結の一助となりました。碑には、石橋博士の友人であり日本を代表する俳人である水原秋桜子氏の俳句「人と村 同じ名もてり すみれ咲く」が刻まれています。

姉妹都市交流の歴史

- 一九六二年 石橋博士が自身と同じ名前のシュタインブリュッケンを初めて訪問
 - 一九六六年 石橋小学校とシュタインブリュッケン小学校の間で図画作品交換が始まる
 - 一九六八年 石橋博士が句碑をシュタインブリュッケンに寄贈
 - 一九七三年 石橋博士から寄贈された句碑を石橋小学校に建立
 - 一九七五年 石橋町・ドイツヘルツォーグ（旧シュタインブリュッケン）姉妹都市締結
 - 二〇〇九年 下野市（旧石橋町）・ドイツヘルツォーグ姉妹都市締結
- 中学生姉妹都市派遣事業、姉妹都市親善訪問事業など様々な交流を重ね現在に至る



石橋長英博士
1893-1990

- 日本の医学者
- 一九二〇年 東京女子医科大学教授に就任
- 一九二五年 公益財団法人日本国際医学協会を組織し初代理事長に就任
- 一九三六年 日独医学協会会長に就任
- 一九七三年 獨協医科大学初代学長に就任
- ドイツ連邦共和国功労勲章受章者

姉妹都市締結四十五周年記念事業

二〇二一年 月 下野市国際交流協会